

おしとせ
12/29~1/3は
休園します

森の館通信



今年も冬が越せるかな？

伸びすぎたササを切って、
地面を出す



イベント「森の手入れ」の様子



落ち葉が集まったところを囲う

こうすると、
幼虫が落ち葉に入って
冬を越す場所ができます



エノキの幹

エノキの木から
葉が落ちる12月頃、
ゴマダラチョウの幼虫は
幹をつたい木の根元の
落ち葉に向かいます。



幼虫

エノキの葉

越冬している幼虫を探しているところ

イベントの参加者とともに、たくさんの生きものと暮らせる里山環境の復元を行っています。

スタッフのつぶやき

▼カヤネズミの巣



この森に、日本で一番小さなネズミ「カヤネズミ」がいることをご存じですか？その名の通り、野原や田畑、水辺周辺のイネ科等の植物が密生するところで暮らしています。体長は5-8cm(尻尾除く)ほどで、イネ科の種子やバッタ等の昆虫を食べます。今年も園内の「ススキ草原」で、ソフトボール大の丸い巣が見つかりました。昔は日本各地に家畜の餌や屋根の材料として茅場等がありましたが、近年は開発等で減少し、一部の地域では絶滅寸前まで追い込まれています。この森ではススキの移植や増殖を行い、生息環境の維持管理を行っています。ススキ草原を歩く時は、小さなネズミがすぐ近くで今も暮らしていることを想像してみてください。巣は森の館内でも展示していますよ。(きのっち)

今月のオススメイベント

1月6日(土)・7日(日)
10:00~14:30

「糸くり体験~カイコのまゆから糸をひく~」

カイコのまゆを煮て糸くり機を回し、生糸をひきます。あやとりができるぐらいの絹糸が完成します。

対象：どなたでも
参加費：無料
定員：特になし
*当日、直接森の館へ

1月13日(土) 10:00~12:00

「わらのクラフト」

田んぼでとれたわらを
使って縄なえをします。
細いわらが、丈夫に大変身！昔ながらのわら細工に挑戦してみよう！

対象：小学生
参加費：200円
定員：10名
受付：受付中



動物大好き
きのっこの
生きものいろいろ
話が聞ける

森の館
「堺自然ふれあいの森・森の館」の
きのっかがスタッフに見せてね！



森の館の様子を発信中！ Facebookもチェックしてね！

堺自然ふれあいの森 Facebook

園路を歩いていると、大きな羽が落ちていたよ!生きもの「そのもの」は見られなくても、羽やフンなど落とし物や食べ跡が見つかったら、その生きものが「いた」ということが分かるね。今回の落とし物はこの羽。さあ、じっくり観察してみよう!

フクロウの羽、みつけた!



触ってみると...

と〜ってもふわふわ!

羽の表面には細かい毛がたくさん生えていて、とてもいいざわり心地。この毛は飛ぶ時に音を消す役割をしているよ。フクロウは夜行性なので夜に狩りをするのだけれど、暗やみにまぎれて狩りをする時、この毛のおかげで獲物に気付かれずに近づくことができるんだね。

この羽は白と茶色の境目を拡大してみると、毛の生えている様子がよく分かるよ。他の鳥など模様のない羽は、手で割いて観察するのもオススメ。



翼の外側の方に生えている「初列風切羽」
本当の大きさは約25cm

ふちを拡大してみると...

「ギザギザ」発見!

これも音を消すための仕組み。ノコギリの歯のようなギザギザの形が、翼が空気を切る音を消す働きをしているよ。この「セレーション」と呼ばれる仕組みは、静かに走行するための工夫として500系新幹線のパンタグラフにも取り入れられていたよ。

このように、生きものすごい機能をまねして新しい技術を生み出すことを「バイオミミクリー」と言うよ。



のぞいてみると...

中はスカスカ?!

羽の軸(羽軸)の付け根は透明で、中が見えるようになっているよ。のぞいてみると中はスカスカでストローみたい。羽軸の中がスカスカであることで羽が軽くなり、飛ぶのに便利になっているよ。羽は1羽の鳥に大小合わせて数千~数万枚も生えているので、飛ぶためには少しでも軽いほうが良いんだね。

昔ヨーロッパで使われていた羽ペン、このスカスカになっている仕組みを利用したもの。羽軸の付け根を切って整形して作ることができるよ。



フクロウ *Strix uralensis* Ural owl

全長50~62cm、体重は約500g~1.3kgでメスの方が大きい。翼を広げると1m以上にもなる。主にネズミやモグラ等の小動物や小鳥などを食べ、それらが豊富にくらす、まとまった森を住みかとする。木の「うろ(木の中が腐ってできた穴)」に巣をつくるが、最近ではうろができるような大木が少なくなり、個体数の減少が心配されている。



フクロウ・不苦労・福来郎

「フクロウ」と呼ばれ始めたのは奈良時代(西暦700年代)。由来は低い笛のような音色の鳴き声からと言われている。古代ギリシアでは知恵の女神「アテナ」の守護鳥として学問や芸術の象徴とされていた事もあり、「森の賢者」「学問の神様」と呼ばれたり、物知りの「長老」をイメージされることが多い。また、フクロウという名前が「不苦労」「福来郎」に通じ縁起がいいとされる。

2018年も、沢山の福に恵まれたいい年になりますように!羽の実物は森の館カウンターで。ぜひ見て・触ってね♪byさんこ。



堺自然ふれあいの森

〒590-0124 大阪府堺市南区畑1740
TEL: 072-290-0800

開園時間: 9:00~17:30 (3~10月)
9:00~16:00 (11~2月)
休園日: 月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始

<バス>
泉北高速鉄道「泉ヶ丘」駅 南側2番のりば「鉢ヶ峯行き」
「公園墓地北口」下車 徒歩約1,200m
※日・祝は一部「堺公園墓地行き」もあり(「自然ふれあいの森前」下車すぐ)
<車> 駐車場無料
阪和自動車道 堺ICより泉北ニュータウン方面へ約7.5Km
「堺公園墓地」を目標に お越しください



*ウェブサイトへGO!

イベント情報や最新の自然情報が閲覧できます。

堺自然ふれあいの森 検索

